

中国地方の特徴を活かした産業競争力の強化に向けて

(案)

中国地方は、臨海部に複数のコンビナートを擁し、石油、鉄鋼、化学、木材などの基礎素材型産業や、自動車、造船などの加工組立型産業を中心に、国内屈指の産業集積地として発展してきた。その結果、世界有数のシェアを誇る製造業が多数立地する等、産業の国際競争力の高い地域として、我が国の経済社会を支えるに至っている。

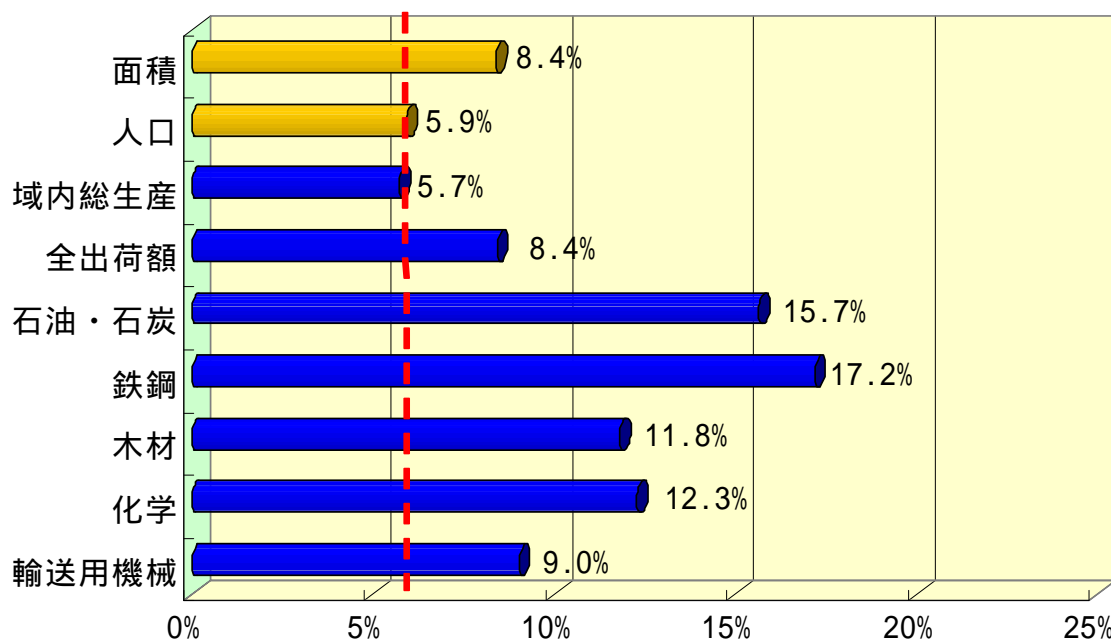
一方、中国をはじめとする東アジアの躍進や、リーマンショック以降の世界経済の停滞からの回復の遅れともあいまって、我が国経済の世界における相対的地位は低下している。円高、人件費高や海外マーケットの拡大等により、我が国企業から海外への投資も顕著化する等、国内への企業立地マインドの醸成が図られているとは言い難い。

国内企業の内部留保額が2百兆円を超えるといわれる中で、雇用の維持や企業立地の拡大、産業の国際競争力の強化を図るためには、安価で効率的な物流を実現するための世界水準の産業インフラ投資や所要の法制面での改善等を行うことが有効である。

経済産業省においては、日本国内投資促進プログラムを策定し、国土交通省においては、既に国際バルク戦略港湾、日本海側拠点港等の政策の展開を通じて、産業競争力の強化を図ることとしている。こうした動きと足並みを揃えて、国際物流に係る輸送コストの削減や、内外の企業による国内での投資の促進に資するソフト・ハード一体となった施策を展開し、中国地方が優位性を有する基礎材型産業や加工組立型産業等の国際競争力をより一層強化する必要がある。

このため、中国地方における産業競争力等を重点的に強化する地域として以下に示す地域を定め、国際物流コストの低減をはじめとした各種政策を官民一体となって強力に推進していくこととする。

地域	ソフト施策	ハード施策
産業競争力重点強化地域		
山陰中央	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本海側拠点港の選定 ・ 境港の機能を最大限に発揮するための埠頭再編 ・ リサイクル貨物の取扱に係る規制緩和 ・ 国内投資促進プログラムの推進による企業立地の促進等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 船舶の大型化に対応した岸壁・埠頭用地の整備と日本海側のゲートウェイに相応しい交流拠点の整備 ・ 中国横断自動車道（尾道松江線）山陰道の整備等
石見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨港地区の土地利用形態の見直し ・ 高規格道路（浜田自動車道等）との連絡機能等を最大限に活用した背後圏の拡大、新規需要の開拓 ・ 国内投資促進プログラムの推進による企業立地の促進等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨港道路の整備 ・ 物流倉庫の整備 ・ 山陰道（浜田三隅道路）の整備等
水島	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際バルク戦略港湾の選定 ・ 安全に配慮した潮汐の利用による航路航行、錨泊地の利用 ・ 2 港寄り等による大型船の有効活用 ・ 総合特区(水島コンビナートに係る総合特区の認定等による種々の規制緩和の促進)の実現 ・ 国内投資促進プログラムの推進による企業立地の促進等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 官民が連携した施設整備の展開（航路・泊地の増深と荷役機械等の整備） ・ 水島地区と玉島地区の連携を強化するための臨港道路整備の促進等
備後	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際バルク戦略港湾の選定 ・ 安全に配慮した潮汐の利用による航路航行、錨泊地の利用 ・ 2 港寄り等による大型船の有効活用 ・ 国内投資促進プログラムの推進による企業立地の促進等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 官民が連携した施設整備の展開（航路・泊地等の整備）等
広島都市圏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹航路国際コンテナ貨物に係る阪神港との連携強化 ・ アジア地域との間の国際コンテナ貨物の集約 ・ 港湾運営会社の設立（福山港含む） ・ 埠頭再編による港湾の高度利用の推進 ・ 国内投資促進プログラムの推進による企業立地の促進等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンテナ貨物の集約に資する出島地区 CFS の整備 ・ 東西に広がる広島港の連携機能強化のための臨港道路の拡張と広島南道路の整備促進等
周南・宇部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際バルク戦略港湾の選定 ・ 安全に配慮した潮汐の利用による航路航行 ・ 2 港寄り等による大型船の有効活用と 2 次輸送網の拡張 ・ 総合特区（国際バルク戦略港湾プロジェクト）の実現 ・ 国内投資促進プログラムの推進による企業立地の促進等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 官民が連携した施設整備の展開（航路・泊地増深と荷役機械等の整備）等



資料: 国土地理院「H21.10 全国都道府県市町村別面積調」
 総務省統計局「H22 国勢調査」
 内閣府「H19 年度県民経済計算」
 経済産業省「H20 工業統計表」

図表 - 1 中国地方における製品出荷額等の全国シェア

順位	都道府県名	全体合計 (兆円)	臨海部 製造品出荷額 (兆円)	臨海部割合
1	愛知	46.4	18.4	39.6%
2	兵庫	16.5	11.9	71.8%
3	千葉	15.5	11.0	71.0%
4	神奈川	19.5	9.4	48.2%
5	大阪	18.2	9.2	50.9%
6	広島	10.3	7.4	71.7%
7	山口	7.1	6.6	92.6%
8	岡山	8.7	6.2	71.3%
9	茨城	12.3	5.0	40.8%
10	福岡	8.6	4.7	54.2%
11	三重	11.7	4.4	37.4%
12	静岡	19.2	4.3	22.3%
13	愛媛	4.3	3.8	88.8%
14	大分	4.4	3.4	76.8%
15	和歌山	3.3	2.8	85.9%

資料: 経済産業省「H20 工業統計表」

図表 - 2 各都道府県の製造品出荷額に占める臨海部の割合

製品	シェア	主な用途
ヘリオフレッシュ	世界第1位	香料原料
シュウ酸ジメチル	世界第1位	電子材料エッチング原料, 抗菌剤原料
高純度カテコール	世界第1位	半導体剥離材
メチルエチルケトオキシム	世界第1位	自動車電着塗料, シリコン系硬化剤
三塩化ホウ素	世界第1位	アルミニウム配線のドライエッチングガス
フェノール樹脂	世界第1位	半導体エポキシ封止材, フォトレジスト
ポリカーボネートジオール	世界第1位	塗料, 接着剤, 樹脂
3-メトキシアクリル酸メチル	世界第1位	医薬品, 農薬 (殺虫剤)
チラノ繊維	世界第1位	航空機構造部材, エンジン部材
高機能電解液	世界第1位	リチウム電池用電解液, コンデンサー用電解液
ジルコニア	世界第1位	歯科材料, 光ファイバーコネクタ材料
クロロスルホン化ポリエチレン	世界第1位	エスカレータ - の手すり, 自動車用ホース
窒化アルミニウム	世界第1位	電子機器の放熱板・絶縁体
1,5-ペンタンジオール	世界第2位	特殊ポリエステル, インクジェット
硫酸ヒドロキシルアミン	世界第2位	医農薬品, 写真用処理薬
ドデカン二酸	世界第2位	環境対応型切削油, 樹脂材料
1,6-ヘキサジオール	世界第2位	環境対応型塗料, 高耐久性樹脂
カプロラクタム	世界第3位	ナイロン原料
硫安	世界第3位	肥料
炭酸ジメチル	世界第3位	リチウムイオン2次電池用電解液, 樹脂材料
ポリイミドフィルム	世界第3位	高精細回路用基材
ハイシリカゼオライト	世界第3位	自動車排ガス処理触媒
エチレンアミン	世界第3位	医農薬品, 1,6-ヘキサジオール硬化剤
多結晶シリコン	世界第3位	半導体, 太陽電池

企業ヒアリングにより作成 (2011.3現在)

図表 - 3 中国地方で製造される世界シェア上位の化学製品

地域	既投資額 (億円)	設備投資予 定額(億円)	既存雇用 者数(人)	新規雇用増 見込(人)	備考
山陰中央・石見	(調査中)	約 360	(調査中)	約 950	境港・浜田港の主な 利用企業の投資計画 の合計値。
周南・宇部	約 23,000 過去 40 年	約 3,000	約 12,000	(調査中)	同地域の主要総合化学 メーカー3社の合計 値。

図表 - 4 中国地方に立地する製造業における主な投資計画等 (調査中)